第1学年 社会科学習指導案

1 単元名 地理分野

アフリカ州 一国際的な支援から自立に向けて一

2 単元 (題材) の目標

- ・アフリカ州の課題について、都市化、医療、環境問題、食糧などの視点から理解する。(知識・技能)
- ・現在、世界各国はアフリカに対して、どのような支援を行っているのかを資料から読み取り、アフリカの 人々の経済的自立について考察する。(思考力・判断力・表現力)
- ・アフリカの課題を私事として捉え、解決するための方法を考えている。(主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現在のアフリカ州が持つ課題につ	写真や表から、アフリカ州では都市	アフリカ州の様々な課題について、
いて、3つの視点(都市化・経済格	化が進む一方で、農村地域との較差	どれが最も深刻で解決すべき課題
差・環境問題)を踏まえて理解して	や生活水準が異なること、また世界	かを、根拠を元に説明でき、自分た
いる。	の生活水準と比較して、アフリカ州	ちは何ができるか意見を持つこと
	の課題について説明している。	ができる。

4. 単元の構想

(1) 単元 (題材)

本単元では、アフリカ州において、耕作地の砂漠化や経済支援に関わる課題などを、アフリカ州の地域的、歴史的特色と関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。またアフリカ州について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題と、世界の国を比較することで主体的に学習し、「どのような支援があったら良いか」の視点から自分の意見を形成させたい。

(1) 生徒について

・単元と生徒

これまで「世界の諸地域」で授業を行い、「アジア州」、「ヨーロッパ州」の学習は比較的に身近な国で、考え、表現することができていた。しかし「アフリカ州」は過去に学習したことがない初めての単元であり、かつ日本とは遠く、生徒にとっても身近な地域とは言い難い。今までの各州の学習では、課題の気づき及び解決策を考えるという過程を意識し、どのような課題があり、どうすれば解決できそうかを調べて発表するという単元構想で工夫しながら授業を行っている。

(2) 単元について

中学校学習指導要領社会編においての地理分野の目標は、「社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。」としている。

第3節「アフリカ州」は、広大な面積を持ち、熱帯をはさみ模式的な気候帯が南北に見られる。四大文明の1 つである、エジプト文明が栄えた古い歴史をもっている。しかし、中世以降、奴隷貿易の中心となり、長い期間 ヨーロッパの植民地としての歴史も併せ持っている。現在は、植民地時代に強制されたモノカルチャー経済やプランテーションで経済が成立し、ヨーロッパ諸国との貿易が中心である。近年では、各種レアメタル資源の開発が、先進国を中心として世界から注目され、また人口増加の著しい地域では新たな市場として、世界各国の企業が進出しようとしている。

アフリカ州の課題として、近年では急激な都市化と人口増加による、上下水道の整備の遅れや貧富の較差、貧困層の労働問題などの都市問題が上げられる。また、環境問題も深刻であり、農地拡大による森林伐採、野生動物などの減少など多くの問題を抱えている。さらには国家間や国内での民族紛争や難民問題など、解決すべき課題が非常に多く、日本を含む先進国や新興国の多くの援助が求められている。

これらをふまえて本時の学習では、アフリカの課題に焦点を当てた。これまでに学習してきたアフリカ州の歩みや、優れている点を踏まえて、アフリカの最も早急に克服した方がいい課題と、そのためにどのような援助が必要かを考えさせたい。これについて考えることで、国際社会に生きる一員としての公民的資質の基礎を養うことができると私は考える。

(3) 指導の工夫

- ・課題の発見から意見交流、そして発表方法のICT化
- ①導入

前時の内容を画像や資料を用いて行う。

②展開

ランキングスライド作成(個人)

ロイロノートにて、アフリカの早急に克服した方がいい課題ランキングベスト2スライド作成する。

③展開(3)

ランキングスライド作成(班内)

個人で考えたアフリカの早急に解決すべき課題ランキングを互いに発表し合い、班員で意見をすりあわせ、ランキングを作り、そのランキングにした根拠やどのような支援をすると解決できそうかを、ネットサーフィンや情報収集、そして集約するという全ての活動にICT機器を用いさせる。

4)発表

各班作成したランキングを提出箱にいれ、生徒発表機能を用いて各班代表に発表させる。

⑤研究主題との関連性

「できる授業」「学びあう授業」「見方・考え方」の観点では、生徒個人で考えたアフリカ州の早急に解決すべき課題ランキングを互いに発表し、様々な考えに触れ、生徒同士にとって多面的多角的学びができることを本時で実現する。

「深い学びの実現」については、生徒が個人の意見から班内で意見集約をし、互いの意見について尊重し合いながら意見をすりあわせ1つの意見として発表できていること、また他班の発表を聞くことで新たな考えを形成できたかどうかを振り返り活動で評価・判断していく。

評価

本時の授業は、「アフリカ州では、なぜ国際的な支援が必要なのか」を考察しまとめる上で、重要な時間である。本時でアフリカの早急に解決すべき課題について考えることで単元を貫く学習課題のまとめができると考える。その生徒のまとめの内容を分析することで、学習定着度を判断する。

5.単元(題材)の指導計画(全4時間)

時	学習のねらい(○)と主な	評価			
	活動内容(・)	知	思	態	■評価規準
1	「アフリカ州をながめて」 ○アフリカ州の自然、歴史と文化、産業の特色について、雨温図、分布図、写真などの資料から概観し、基礎的・基本的な知識を身につける。また「アフリカ州は、なぜ国際的な支援が必要とされているのか」という大学習課題を立て、見通しを持って主体的に追究する。	0		0	・広大な砂漠を持つ自然、古い歴史と伝統的な文化、農業や鉱業を中心とした産業などの特色を概観し、理解している。(知技)・アフリカ州の概観を通して設定した大学習課題の答えを予測し、その答えをもって探求的に追求しようとしている。(態度)
2	「アフリカの産業と新たな開発」 ○アフリカ州のプランテーション 農業やモノカルチャー経済の実態 について、主題図や貿易統計から読み取る。 ○アフリカ州の産業から、国際支援 が必要なのかを多面的・多角的に考 察する。	0	0		・アフリカ州の農業と鉱業の特色や問題点を、さまざまな資料の関連付けから読み取っている(知技) ・アフリカ州の産業から、国際支援が必要な背景を多面的・多角的に考察している。 (思判表)
3	「発展に向けた課題」 ○アフリカ州の課題について、都市 化・人口増加・環境問題などの視点 から理解する。	0	0		・写真や表から、アフリカ州では都市化が進む一方で、農村地域との格差や生活水準が異なることを説明している(思判表) ・現在のアフリカ州が持つ課題について、3つの視点(都市化・経済格差・環境問題)を踏まえて理解している(知技)
4	「解決すべき課題たち」(本時) ○アフリカ州の早急に解決すべき 課題のランキングベスト2を作成 し、根拠に基づいて説明する。		0		・前時の内容をもとに、アフリカ州の早急に 解決すべき課題のランキングベスト2を作 成する活動を通して、アフリカの課題につい て表現している。
5	「アフリカの学習を振り返ろう」 ○地図や写真などの資料から、アフリカ州の学習について振り返り、整理する。 ○アフリカを支援するNGOの取り組みや国家間の支援について、調べさらに必要だと思う支援を考える	0	0		・地図や写真などの資料を関連付けて、アフリカ州の地理的事象を理解している。 ・特定の産業に頼る国づくりの背景や現状、 課題について、アフリカ諸国の自立の視点から、論述し、意見交流を行っている。

6. 本時の計画(4時間目/全5時間)

(1) 本時のねらい

・前時で学習したアフリカの課題をもとに、アフリカの「どの課題が早急に解決すべきか」、のランキングスライドを作成し、根拠に基づいて説明する。

「問題解決型」」「技能習得型」・「単元型」 (2)本時の展開 ※意識して取り組むフレームワークを○で囲む→ ■評価・○留意点 学習活動 教師の支援(○)と 予想される生徒の反応(・) **♦** ICT ○前時の復習 導入(5分) T1:前回の授業で学んだアフリカの課題は何で 前時の復習 したか?1分後に聞きます。周りと相談しながら ○周囲の人と相談してい 思い出してください。 いよう呼びかける。 T2:時間が来たので当てます。 予想される生徒の発言 ・食糧不足 ・経済格差 ・水不足 ・医療水準が低い ○前時で学んだアフリカ ・砂漠化 ・乳児死亡率が高い 州の課題資料パワーポイ ・教育水準が低い・医者不足 ントで提示 学習課題 アフリカ州の早急に解決しなければならない課 題はなんだろう? ■理由を明確にして、課 展開 1 (10分) 題を選んだ理由を説明す ○個人でアフリカの早急に解決すべき課題ラン ることができたか。 個人でランキングベスト2を キングを考える。 (判断・表現) 考える。 ※選んだ理由も付け加える ○サポートが必要な班に は机間支援の際に助言す る。 展開2(20分) 表現力のある生徒や意見 個人のランキングを班内発表 ○個人で考えたランキングを班内で発表する。 を強く主張できる生徒の する。 意見を採用するのではな 班内の意見を1つにまとめ ○班内でランキングを1つにまとめる く、意見をすりあわせられ る。 るようサポートする。 ○生徒間通信を許可し、画 展開3 (10分) ○各班でまとまった意見を発表させる。 像や文章をお互いに送り 各班のまとまったランキング 合えるようにする。 を発表 ○生徒発表機能を用いて、 他班の発表を聞くことに

集中させる。

まとめ (5分)
振り返り活動

まとめ (5分)
振り返り活動

まとめ (本時全体を振り返り、まとめを行う
ロイロノートのテキストを用いて、本時で学んだ
こと、感想を提出箱に入れる。

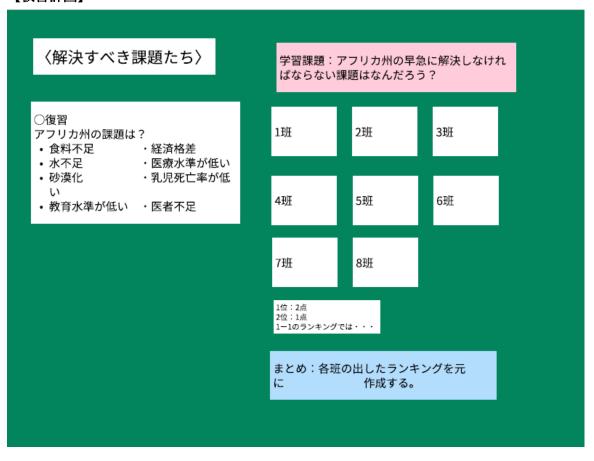
各班の出したランキングをもとに作成する。

(例) 現在アフリカでは水・食料問題など命に関
わる様々な課題を抱えている。
(例2) 現在アフリカでは、医療水準の低さや医
者不足などの命に関わる課題を抱えている。

(3) 評価

アフリカ州の早急に解決すべき課題を個人で考え、班内で発表し具体的な根拠に基づき、互いの意見を尊重し合いながら1つの意見として表現できている。

【板書計画】



7. 取組の重点

(1) 研究主題

「できる授業」「学び合う授業」~「見方・考え方」を働かせる深い学びの実現~

(2) 研究主題を実現するための重点的な取組

「できる授業」 :「自分の考えを班内で発表する」 という家庭で実践する。自分で考えたランキングを理由と ともに発表することで、班員がその意見をしっかり聞き、「できた」という自己有用感や達成感 を味わうことができると考える。

「学び合う授業」:「班で出た意見をすりあわせて1つにする作業」で実践する。自分で考えた意見や班員の意見を聞くことで、様々な考えに触れることができる。また互いに尊重し合いながら1つの意見にすることで「学びあい」のでの実践ができると考える。

「見方・考え方」を働かせる深い学び:「教室での発表、振り返り活動」で実践する。班で1つにまとめた意見を各班が発表することで、個人→班→クラスの順番で より多くの意見を聞くことができ、自分の最初の考えからどのように考えが変化したかを見取ることで、学びの成果を実感させることにもつなげたい。